

# JHF REPORT



「2014ハンググライディングクラスV日本選手権 in 茨城」より。(10-11ページの記事をご覧ください。) 撮影:鈴木康之

## 2015年を迎えて

新年を迎え、フライヤーの皆さんはそれぞれのフライト目標を達成しようと張り切っていることでしょう。無理をせず、安全マージンを十分に確保して、空を楽しんでください。

今年はJHF役員改選の年です。現役員の任期はあと半年。9人の理事と2人の監事は、各々の担当する「仕事」を全うするためラストスパートに入りました。11人の今年の抱負をひとことずつ述べてもらいましょう。

### 会長 内田 孝也

オリンピック東京大会に向けてまたひとつ年を越えました。アジアの元気な新興国からは「アジアのオリンピック系大会にもっとスカイスポーツ採用を」という声が届いています。JHFは日本航空協会と緊密に連携して、スカイスポーツの活性化に努めます。

### 副会長 安田 英二郎

ものごとは具体的な目標設定が重要

です。今年の終わりには今より一人でもフライヤーが増えていること、そして、死亡事故ゼロをめざしましょう。

### 副会長 工藤 修二

フライヤー減少がまだまだ続いている増加に転じていません。昨年フランスに行ってきましたが、フランスは人口8000万人に対してフライヤー人口が3万4千人です。驚きました。前会長が仰っていました。生徒→お客様、教員→インス



### 今年も何より「安全第一」で

高高度飛行、滞空時間を作ばず、距離を飛ぶ……あなたの2015年の目標は何ですか。地上仕様の人間が鳥類に近付くには、安全に着実にステップアップするのみ。焦らず、十分な安全マージンを確保して楽しいフライトを。

トラクター、飛ばせてあげる→飛んでいただく……意識の変革が必要なのかもしれません。

フライヤーの皆さん、安全第一に飛びましょう。

#### 理事 芦川 雄一郎

フライヤーは『フライヤー宣言』をもう一度読み、フライヤーである前に善き社会人であって欲しいと思います。社会のルールを守り、予測できない天候の急変にも気を付けて安全に飛びましょう。

#### 理事 大澤 豊

今年も引き続きデジタル無線機の普及活動の推進をします。競技の安全、公平な運営ができるように協力し、競技に興味がある方が参加しやすい環境を考えたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

#### 理事 鹿山 登

47都道府県連盟の活動が少しでも良い方向に向かうよう、活動し努力して

いきたいと思います。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

#### 理事 塩坂 邦雄

自由な空をいつまでも楽しく飛べますように、新年にあたり『フライヤー宣言』をもう一度確認して、安全第一で飛びましょう。皆様の安全をお祈りします。

#### 理事 殿塙 裕紀

近年、観光地でのパラグライダー体験やタンデムの人気が高いと聞き、大変嬉しく思っています。これをきっかけに、沢山の方が空の世界へ飛び込んで来れるよう、尽力してまいります。本年もよろしくお願ひいたします。

#### 理事 福永 信也

2020年東京オリンピックにスカイスポーツが採用されるかも……。

スポーツ選手の夢の頂点への舞台が近付いて来る。IOC(国際オリンピック委員会)とFAI(国際航空連盟)の話

し合いが始まりました。夢から現実となった空を飛ぶ夢からオリンピックという夢が実現するといいですね。

#### 監事 市川 孝

JHFの会計および理事会などの運営状況は、公益社団法人の法律などに基づいて適正に行われています。本年は、主務官庁による定期立ち入り検査が予想されますので、従来にも増した厳格な運営に努めてまいります。

#### 監事 岩村 浩秀

JHFの監事になって2年目。監事の仕事は理事会の業務執行監査と会計監査なのですが、実際には議事内容に対する意見も求められ発言もさせていただいています。この中で気付いたことは、やはり事故の多さと会員数の減少でしょうか。

個人的にはブラックアップセミナーに期待していますが、まだ現役に戻れる身体じゃないので、ダイエットに励みます。今年もよろしくお願ひします。

## JHFの動き

### 埼玉スカイスポーツフェスタ2014 スカイスポーツの魅力をアピール

第1回埼玉スカイスポーツフェスタ2014を、他のスカイスポーツ団体と共に開催しました。

2014年10月12日(日)、埼玉県熊谷市の妻沼滑空場を会場に、滑空機(グライダー)、気球、マイクロライト、模型飛行機の団体と一緒に、ハング・パラも市民にアピールしてきました。熊谷市、並びに市教育委員会の全面バックアップのもと、子供たちを主体に各種目の体験会を行い、デモフライトもできました。台風の襲来が心配されたなか曇りベースの穏やかな一日となり、行政当局によると来場者数は約6,000名。当日の印象としては、混雑はなく、各スカイスポーツ団体からの参加者も互いに楽しんでいました。



各団体が共同で空の楽しさを市民にアピールした。

熊谷には、公益財団法人日本学生航空連盟が市当局と「グライダーフェスタ」という市民の理解を求める体験搭乗会を実施してきた歴史があります。一方、2013年の中ごろから、公益社団法人日本滑空協会からの提案で、手弁当でも、スカイスポーツの各団体が共同で空の楽しさをアピールする場を作ろうと検討をしてきました。そこへ妻沼滑空場が受け入れ可能ということから、手探りのプラン構築で開催に至りました。今回の成功を見て、熊谷市市長もたいへん前向きとなり、第2回の開催が決定。2015年10月25日(日)に再び妻沼滑空場で「埼玉スカイスポーツフェスタ2015」を、行政からのより厚い支援を得て実施する予定です。見学・参加の希望者は、今後の情報にご注目ください。

スカイスポーツ各団体の共同事業として、この行事を先例に、熊谷市以外の地域でも空の楽しさをアピールする場を作れたらと考えています。技術の開発が進み、ハング・パラも平地を舞台に行事を計画できるようになっています。この記事をお読みの方の地元で、同様の催しを試みたいという希望がありました

ら、ぜひJHF事務局までお問い合わせください。

### HG世界選手権／PG世界選手権 日本代表チームにご声援を

2015年1月10日～25日にコロンビアで開催中の第14回FAIパラグライディング世界選手権に日本代表チームが出場しています。また、2月28日～3月13日にメキシコのバジャ・デ・プラボで開催される第20回FAIハンググライディング・クラス1世界選手権に出場の日本代表チーム選手が決定しました。各チームに厚いご声援を! チームの顔ぶれは6ページをご覧ください。

## 追悼

教員・スクール事業委員長の水野良信さんが11月19日に亡くなりました。

水野さんはパラグライダーメーカー経営、パラグライダースクール主宰、山梨県フライヤー連盟理事長と、長年パラグライディングの振興に貢献され、アキュラシー競技でも活躍中でした。50歳の節目の年に病に倒れ、さぞ無念であったことでしょう。ご冥福を深くお祈りします。

# ハング・パラグライディングの未来のために立候補を 役員の任期満了に伴う改選

## JHF役員選任実行委員会

本年6月定時総会で、現任役員の任期満了に伴う改選が行われます。

JHFの理事ならびに監事の任期は、定款第27条により「選任されてから2年目の定時総会の終結の時まで」と定められています。

以下、JHF役員の選任について説明します。

### 1.立候補資格者

JHF役員選任規約第9条に定められているとおり、立候補届出時に有効なJHFフライヤー登録者で、かつ住民票所在地の都道府県連盟（JHF正会員）に所属し、その推薦を受けた方なら、誰でもJHF役員に立候補する資格があります。

ただし、上位の法律（公益認定法）では、公益法人の事業を行うにあたり、役員・正会員・職員に特別な利益を与えることを禁じる旨が明文化されており、自己に有利な利益誘導があれば罰せられます。また、法に違反し刑に処せられている者や、執行を終えても一定期間を経過しない者等は、役員になれません。

### 2.選任方法

選任のための役員立候補者の募集活動や選任事務は「役員選任実行委員会」（以下、実行委員会）が実行にあたります。

役員の選任は、概ね以下のスケジュールで行われます。

◇役員選任議題のある総会の約10週間前に実行委員会が選任公示を行い、選任に関する資料を正会員に配布。同時にJHFホームページにも関係資料を掲載します。

◇総会の約6週間前に立候補受付を締め切ります。

◇総会の約4週間前に立候補者の公示が行われます。

総会当日は、役員選任議題の場で、正会員が投票により立候補者それぞれに選任の決議を行います。開票後、過半数の賛成票を得た立候補者のうち、役員定数内の得票上位者が役員として議決されますが、定款第20条第3項「理事のうちいずれか1名とその親族

その他特別の関係ある者の合計数は、理事現在数の3分の1を超えてはならない」、および定款第20条第4項「公益法人を除くこの法人以外の団体の理事又は使用人、その他これに準ずる相互に密接な関係にある理事の合計数は、理事現在数の3分の1を超えてはならない」に抵触する場合、該当する立候補者を除く得票上位者を役員とします。

### 3.その他

#### (1) JHF組織

JHFは正会員とフライヤー会員が構成員となり（下図）公益認定期に公益認定等委員会へ届け出た「公益に関わる事業で、かつ不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業」を行っています。

JHFの事業や規約等は、法律の範囲で正会員によって構成される「JHF総会」が決定します。総会によって選任されたJHF理事は「理事会」の一員として法と定款および総会決議に基づき、責任を持って業務を執行します。

また、総会で選任されたJHF監事は、法や定款および総会決議に基づいたJHF活動が行われているかどうかを監査します。

#### (2) 理事の主な役割

- 定期総会・臨時総会の招集を行う。
- 総会議題議案の決定と正会員への通知を行う。
- JHF事業の業務執行と経営統治権限による職務を忠実に執行する。
- JHF事業に関わる、理事の特別な利益取引は禁止されている。
- JHFに損害が生じる恐れのある時は正会員に報告する義務がある。

- 代表理事長の選定および解職を行う。
- 理事の行為によるJHF損害への賠償責任を負う。
- JHF会員の承認権がある。
- 委員会の設置および委員の選任権がある。
- 収支予算・事業計画作成権を持ち、会長が案を作成し、理事会が承認する。

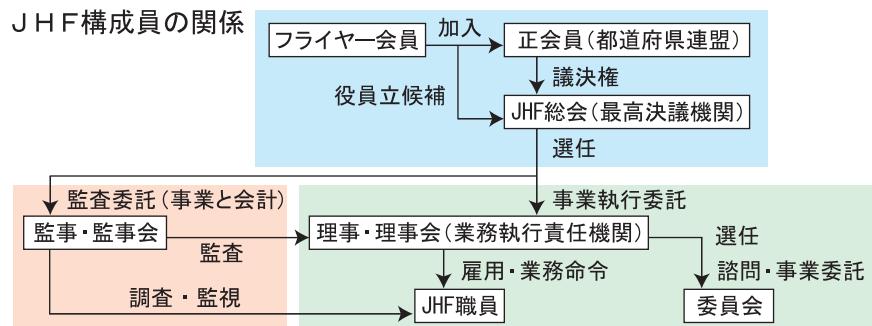
#### (3) 監事の主な役割

- 理事の職務が適正に執行されているかの監査を行う権限と、監査報告を作成する義務がある。
- JHF業務や財産の状況を調査する権限を持つ。
- 理事に不正行為の恐れがある時は理事会に報告しなくてはならない。
- 理事会に出席し必要ある時には意見を述べなければならない。
- 理事不正行為にかかる理事会招集請求権を持つ。
- 総会議題議案や資料を調査しなければならない。
- 理事の行為差止めの権限がある。

以上をご理解いただいた上で、JHFの運営を積極的に担っていただける方を広く募ります。ハング・パラグライディングの未来のために、空の仲間のために活動したいという方、ぜひ立候補してください。

役員選任のスケジュール等は、JHFウェブサイト上でお知らせしていきます。役員改選に関するお問い合わせはJHF事務局まで。

### JHF構成員の関係



# 最近の事故報告と対策

JHF安全性委員会

## 高圧線事故

近年、パラグライダーが高圧線に接触する事故が増えています。モーターパラグライダーの高圧線接触事故は、2014年だけでも3件の報告を受けています。高圧線には電気を流さない電線、避雷線（写真）があります。これは、最上部に細い電線で鉄塔間を繋げていますが、これに接触したケースが複数件発生しています。「高圧線の近くは飛ばない方が良い。飛ぶべきではない」という認識を持ってください。またエリアに高圧鉄塔が隣接している場合は、より注意して安全第一で飛ぶように心掛けてください。



象となります。

保有ハーネスのバックル確認を行い、テープに異常があれば販売店へご相談ください。

輸入代理店：ファルホークインターナショナル



## ツリーランディング死亡事故

2014年11月に東北地方でツリーランディングによる死亡事故が発生しました。状況はランディング場に届かなくなったり、自らツリーランディングを選択したのですが、不運にも木のV字型の枝にヘルメットが挟まり、ヘルメットの顎紐が原因で窒息したものです。

この亡くなられた方も、この状況に陥る前のフライトプランが違っていればツリーランディングすることはありませんでした。ツリーランディングを安易に考えている方も多い、少なからず、こういったリスクを考慮し安全第一でフライトすることを心掛けてください。

もしもツリーランディングをした場合、写真のガード方法を参考にしてください。必ずしもこれで安全というわけではなく、少しでも怪我等を防ぐ姿勢となります。



## 安全警告

### Sup'Air製30mmオートマチックバックル

問題症状：オートマチックバックルより端面によりテープが破損する。

バックルへの刻印：01/12-12/12が対

## JHF全国パラグライダーパイロットセミナー開催

### 【目的】

古くからフライトを継続しているパイロットが古い知識のまま飛んでいる場合には新しい情報を伝え、また近年の事故情報を基に安全にフライトするためのアドバイスなどをし、パイロットに対する再教育を行う。

### 【対象者】

初心者からベテラン、オールドパイロットまで。

### 【セミナー内容】

- ・適正なグライダーの選択
- ・最新テクニックと機材メンテナンス
- ・パラグライダーの基礎知識
- ・事故統計
- ・スポーツに必要な医学的知識
- ・無線の利用方法について
- ・エリアで見かける危険なパイロット

### 【予約方法】

施設の関係で参加定員を設けますので、必ず予約してください。JHF事務局に、指定用紙によるFAXまたはインターネットから申し込み。参加費は一律1,000円。JHF安全性委員会作成の特別な資料を配布します。主に座学講習となり、実技は天候等の影響で中止になることもあります。

### 【開催予定】

◇2015年2月15日(日)

沖縄県【南城市つきしろ公民館】

定員20名

9:00～16:00(座学講習及び実技あり)

講師：安全性特別委員／小林秀彰

◇2月22日(日)

和歌山県【紀の川エリア】



## HGブラッシュアップセミナー

ハンググライダーブラッシュアップセミナーを11月15日(土)～16日(日)に静岡県朝霧高原ふもとっぱらにて坂本三津也講師により開催(写真)。ハンググライディングを長年続けてきた方々、技術を再確認しようと思うパイロットが延べ49名受講。セーフティートーイングのセミナーに、今後も必要というアンケート回答が目立ちました。

### 定員30名

9:00～16:00(座学講習のみ)

講師：安全性特別委員／片岡義夫

◇3月1日(日)

福岡県【火山エリア】 定員20名

9:00～16:00(座学講習及び実技あり)

講師：安全性特別委員／小林秀彰

◇3月8日(日)

静岡県【スカイ朝霧 講習会場及び施設】 定員30名

9:00～16:00(座学講習及び実技あり)

講師：安全性委員／伊尾木浩二

◇3月8日(日)

熊本県【大津町生涯学習センター(中会議室)】 定員20名

9:00～16:00(座学講習のみ)

講師：安全性委員／西本一弘

◇3月14日(土)

鳥取県【鳥取砂丘】 定員30名

9:00～16:00(座学講習及び実技あり)

講師：安全性特別委員／片岡義夫

◇3月15日(日)

徳島県【三加茂エリア付近】

定員30名

9:00～16:00(座学講習のみ)

講師：安全性委員／伊尾木浩二

◇3月15日(日)

北海道【札幌市内】 定員30名

9:00～16:00(座学講習のみ)

講師：安全性特別委員／金井誠

◇3月28日(土)

山形県【南陽エリア】 定員30名

9:00～16:00(座学講習のみ)

講師：安全性特別委員／金井誠

◇12月20日～21日 埼玉県開催済

# 県連だより

## ■教員助教員更新研修会を開催

### 東京都ハング・パラグライディング連盟

教員・助教員の更新研修会を開催します。日程は2015年の早い時期で調整中です。決定し次第、都連WebページとJHF会員ページでご案内します。

#### 都連Webページ:

<http://www.sentencha.com/~tokyohpf/>

また、JHFレポート前号でお知らせしたとおり、安全フライトセミナーをほぼ毎月開催しています。ハング・パラのフライト技術の他に、気象など安全フライトに欠かせない情報を毎月お届けしています。

## フライヤー保険をなくさないために

JHFのフライヤー会員登録をすると、フライヤー保険（第三者賠償責任保険）に加入します。フライヤー会員が重大な事故によって法的損害賠償責任を負ってしまい、被害者に高額な損害賠償保険金が支払われたケースが多くあり、数年前より大赤字です。

保険会社による保険引き受け拒否とならないようにするには、事故を失くすことが重要です。近年、フライヤー同士での事故による機材損傷の賠償案件でも支払金額が高額になっています。フライ

ヤー同士の場合、テイクオフやランディングなど、上から他機が来るかも知れないという危険認識を持っているはずですから、スポーツ参加危険の観点からも加害側が100%法的賠償責任を持つということにはなりません。これを過失責任相殺と言います。迷惑を掛けてしまったら真摯に反省すべきですが、保険で一方が弁償すれば済むと安易に考えないよう、再発防止を含めて関係者皆がそれぞれの責任について考える必要があります。

## 山本直洋個展「ZIPANGU～Earthscape of Japan～」

JHFフォトコンテストの審査員、山本直洋さんの写真展が開かれます。「Earthscape」と題し、地球を感じる写真をテーマに作品を撮り続けている山本さん。この写真展では、モーターパラグライダーで空撮をした日本の風景写真を展示します。

「かつて『日出づる国ジパンゲ』と呼ばれた時代の原風景に想いを馳せ、今も残る大自然を探し求めて日本各地を飛んで回りました。日本の風景で地球を感じていただけるような写真展を目指しました。」（山本さん）

#### 開催場所・期間:

◇キヤノンギャラリー銀座

2月12日～2月18日（最終日15時まで）

◇キヤノンギャラリー梅田

3月26日～4月1日

◇キヤノンギャラリー札幌



写真から地球の脈動が伝わってくるようだ。

## 2015年大会スケジュール

2015年2月以降は以下の公認大会を予定しています（1月1日現在）。詳細はJHFウェブサイトの各競技委員会ページでご覧ください。

### ハンググライディング

□紀の川スカイグランプリ

2月7日（土）～2月10日（火）

□板敷スプリングフライト

3月19日（木）～3月23日（月）

□池田山カップ

8月13日（木）～8月16日（日）

□East Japan Championship

9/19（土）～9/22（火）

### パラグライディングXC

□スカイグランプリin紀ノ川

2月28日（土）～3月1日（日）

□上越市長杯パラグライダー尾神カップ

5月23日（土）～24日（日）

□スカイグランプリ鳴倉カップ

6月13日（土）～14日（日）

□新潟県知事杯争奪尾神岳スカイグラ  
ンプリ 10月24日（土）～25日（日）

□スカイグランプリinASAGIRI

12月5日（土）～6日（日）

### パラグライディングアキュラシー

□パラグライディングアキュラシーin九  
十九里 3月14日（土）～15日（日）

※トーリングで競技を行います。

□パラグライディングアキュラシーin紀ノ川  
6月13日（土）～14日（日）

□パラグライディングアキュラシーin獅子吼  
7月25日（土）～26日（日）

□パラグライディングアキュラシーin南陽

8月22日（土）～23日（日）

□パラグライディングアキュラシー日本選  
手権inGETO

10月10日（土）～12日（月／祝）

□パラグライディングアキュラシー  
inASAGIRI 11月28日（土）～29日（日）

### HGシリーズに参加の方へ

#### デジタル無線への完全移行について

2015年度よりハンググライディングシリ  
ーズ大会への参加条件として、デジタル  
無線の所持が義務付けられます。デジ  
タル無線をお持ちでない方は、至急ご  
用意をお願いします。

2014年度は移行期間としてスカイレ  
ジャー無線を貸出しましたが、2015年  
度より廃止されます。アナログ無線だけ  
では参加することができません。

## ■PG新人戦報告

開催地:山形県南陽スカイパーク  
日 程:2014年11月1日・2日

今年のPG新人戦も例年通り山形県南陽市の南陽スカイパークで盛大に開催しました。

新人戦の参加資格は例年B級以上で初高高度フライトから2年以内の者でした。それを今年はより多くの学生に参加してほしいという気持ちでB級以上をA級以上に変更しました。その結果、今年の参加選手は総勢32名と例年の約3倍以上の人数が集まりました。北は青森、南は大阪から集まり、個々の技術を競い合いました。

初日の天気はあいにくの雨だったのでログハウスで学科をしました。南陽のインストラクター、金井さんの経験談などの話を選手の皆さんがあつらうて聞いていたのが印象的でした。ホームエリアとは違うインストラさんの話を聞くことにより、選手の皆さんのがパラへの興味がより高まつたと思います。

夜にはレセプションがあり、全国から集まった学生フライヤーが交流を深めていました。

また、毎年恒例の裏新人戦では各大学創意工夫して盛り上げていました。皆さん歌ったり、踊ったり、パラについて真剣に語り合ったり、それぞれ楽しんでいたと思います。

2日目は午後から悪天候が予想され



落ち着いて風をよく見て……ちょっと緊張気味?

たためにティクオフ集合を2時間早めました。しかし、なかなか朝霧が消えず、大会開始は結局9時でした。開始時刻は遅くなりましたが、なんとか天気がもつてくれて無事3ラウンド成立することができました。その後雨天となりゲートクローズしました。最初の1ラウンド目は初めてのエリアでの緊張からか思うような結果が出せなかった選手もいましたが、2ラウンド目以降は緊張もとれて良い結果を出す選手が多かったように思います。

今年の新人戦は3ラウンドを通して安定した飛びをした橋本茉子さん(立教)が新人王の栄冠を手にしました。新人王おめでとう。また、1年生で健闘を見せたのが3位の大桃一輝君(弘前)です。2位とも僅差で先輩顔負けの飛びをしていました。

今大会は経験の浅いパイロットが多い中アクシデントも起きず、無事に大会を終えることができて良かったです。選手の皆さんには、今大会での経験を生かして立派なパイロットになってください。

最後に、数多くの協賛をいただいた

企業の皆様にこの場をお借りして心より御礼申し上げます。加えて本大会をご支援くださいましたインストラクターの金井さん並びにスタッフの皆さん、そして参加選手の皆さん、本当にありがとうございました。

### [成績]

1位	橋本 茉子	立教大学
2位	富樫 岳	山形大学
3位	大桃 一輝	弘前大学
4位	小泉 創大	弘前大学
5位	松村 翼	弘前大学
5位	工藤 祐太	弘前大学
7位	西沢 将輝	大阪大学

報告:大会委員長

若杉厚志(山形大学3年)



トップ3。左から大桃君、橋本さん、富樫君。



応援してくださった皆様、ありがとうございます!

### 日本代表チームにご声援を!

2015年は世界選手権イヤー。世界の強豪たちを相手に日本代表が参戦しています。応援してください。

#### □第14回FAIパラグライディング世界選手権

1月10日～25日 コロンビア 日本代表:呉本圭樹、成山基義、上山太郎、平木啓子、植田真吾の5名と個人タイトルを狙う廣川康晃 チームリーダー:岡芳樹

#### □第20回FAIハンググライディング・クラス1世界選手権

2月28日～3月13日 メキシコ 日本代表:砂間隆司、太田昇吾、大沼浩、鈴木由路、外村仁克、石坂繁人、牟田園明、岡田伸弘 チームリーダー:北野正浩

『ハングエイド』も実施中。



朝霧が消えるのを待って競技開始。

# 山崎能啓、目的地直線距離日本記録を更新!

2014年11月7日 ブラジル キシャダ～ポランガ 215.4km

2013年11月、平木啓子さんがブラジルでの直線距離332kmのフライトでパラグライダー日本記録を更新したのは記憶に新しい。1年後、同エリアから、山崎能啓さんが目的地飛行を宣言して、目的地直線距離215.4kmのフライトに成功(実飛行距離224.8km)、日本記録を更新した。以下は山崎さんからの報告だ。

2014年11月7日、ブラジルのキシャダでパラグライダー目的地直線距離の日本記録をめでたく達成です。

およそ40ものサーマルを乗り継ぐこと8時間45分。日没50分前、目的地として宣言したポランガの町の215.4kmのポイントへ到着。約20年ぶりの記録更新です(今までの記録は峰岸氏と松尾氏の南アでの182.5km)。

ブラジルの11月は春。乾燥して風が強く、クロスカントリーに最適なコンディションになります。勤務先のスカイ朝霧に2週間以上のお休みをもらい、前年に続



宣言した目的地をめざし慎重かつ大胆に進む。



サーマルを教える?鷹と平木さんを横に見て。



別日の日に地元の人たちと記念撮影。ブラジルは子どもたちの笑顔がいい!



目的地の町、ポランガが見えてきた。



夕陽を背に着陸場所を撮影。人が集まってる。

## いてのクロカン挑戦。

前年は世界各国の記録フィーバーになった、ここキシャダ。平木さんの直線飛行の日本記録332kmや、フランスのオノランさんの目的地直線距離の世界記録423kmもここで達成。一方、私はクロカン初心者で冴えないフライトでした。早々に降りてしまい、回収車に乗りながら昼からビール飲むこともゲビゲビ(たびたび)……。

今回こそは!と、攻略方法を考え、GoogleMAPで現在位置を確認しながら、ちょっとは上達して(?)日没近くまでのフライトが数回できました。

ただ今回は風が弱めで、追い風での対地速度が60km/hほど(前年は75km/h)。世界記録を狙うには物足りないコンディションでしたが、目的地215km狙いの私には絶好でした。

これからもクロカン挑戦します。うっかりな世界記録をめざして。

記録:目的地直線距離215.4km (2014年12月1日、日本航空協会認定)

パイロット:山崎能啓(やまとざきよしあき 静岡県)

年月日/時間:2014年11月7日/7:50

スタート~16:37ランディング

場所:ブラジル(キシャダ～ポランガ)

機体:OZONE式 ENZO型

ハーネス:sup'air SHAMANE-FR

計器:FLYMASTER、gamin FORE-TREX401、スマホXPERIA

参照:

XC globe/Flights/07.11.2014/Map  
(Yoshiaki Yamazaki)

2015年1月1日現在、FAI(国際航空連盟)認定のパラグライダー目的地直線距離の世界記録は423.5km、2013年11月18日、Honorin Hamardのフライト。女子は285.3kmで、2009年11月14日、Kamira Pereira Rodriguesが飛行。





第3回 JHF ハンググライダー・バラグライダーフォトコンテスト最優秀賞 加藤文博「眩い空」

# 2014ハンググライディングクラスV日本選手権 In 茨城

## 無敵!板垣直樹四連覇。

10月10日-10月13日 茨城県 足尾山フライトエリア 報告:競技委員長 大澤 豊

ハンググライディング・クラス V 日本選手権は今回が四度目の開催となる。第1回は2003年に茨城Cooエリアで、その後2005年に丹沢エリア、2012年に足尾エリアで開催され、2年ぶりに今回も足尾エリアでの開催となった。

この他にもJHF公認大会としては忍野エリアや西富士エリアでも開催されているが、競技人口が少なく毎年開催が難しい現状がある。

しかし、今回は新たな試みとして、クラス I ハンググライディングシリーズ大会のEJCと共に開催として、クラス V の選手とクラス I の所謂、普通のハンググライダーの選手にも多く参加してもらい、選手総勢で23人と過去最多の参加選手での大会となった。

\*ハンググライダーは現在、クラス I から V まであり、滑空性能が一番いいのはクラス IV 、以下、クラス II 、クラス V 、クラス I 、クラス III (パラグライダー)となつて、滑空性能の下のクラスは、上のクラスの大会に出場できることとなっています。

日程は10月10日～13日の4日間、本州に上陸して大きな被害を及ぼした台風18号と19号の間に挟まれた大会となり開催も危ぶまれる気象条件だった。

初日の10日は沖縄には台風19号、北海道には前線を伴った低気圧と、南北に低気圧、そして東西の両側の高気圧に挟まれ、全体に動きの遅い気圧配置だ。地表からテイクオフレベルまでは安定層だがその上2000mまでは減率は悪くない。風も弱く、足尾TO—高峰—益子駅—黒羽ゴールと、ほぼストレートゴールのビッグタスクだ!

しかし、西から予想以上に日射を弱

める高層雲がかかり気温が上がらず、大半の選手は粘り切れずボムアウト。なんとか粘りスタートを切ったグループも、行く手に高峰の壁が立ちはだかり、この日は終わしかと思った頃に、ただ一人粘っていた富原選手が高く高峰を越えて24kmを飛び、日本選手権初日のトップとなる。

11日は西からの高気圧が台風の北上を抑え、天候は概ね晴れで風も弱いが減率は昨日と変わらず。しかし日射がある分、渋くてもコンスタントに1000m程上がり、テイクオフ後に山沿いを一往復した後に、鬼怒大橋—関城ゴールの63kmのテクニカルなタスク。

余裕のある時間設定で、全員が12時30分のスタート時に上空で待機し、半数以上の選手がいいスタートを切った。前半から飛ばし暴走気味に見えた板垣選手が平地に向かうまで先頭をキープし、そのまま鬼怒大橋手前までトップを守る。

ここから先が、弱いヘッドになるゴルまで20kmの生き残りをかけた、激渋レグとなった。次々と脱落していく選手と何とか生き残り集団でサーマルを探す選手。板垣だけが頭一つ抜けて、ただ一人ゴールへ向かい、そのまま2位以下に17分以上の差をつけてゴール。2位の大門選手以下、5人のゴール者はクラス I で参加の選手だった。

大会3日目の12日は朝から高層雲に覆われ好条件は期待できず。

ゲートオープン後、ポツポツとテイクオフする選手だが渋いコンディションにどの選手もランディングしていく。そんな条件で最後まで粘った佐々木選手が、た

だ一人で二つ目のターンポイントをとり、この日のトップとなった。

最終日13日は台風19号の直撃が予想され、前日にキャンセルを発表し3日成立で無事、大会終了。

今回、多くのクラス I の選手が参加して盛り上げてくれたクラス V 日本選手権、選手の技量に大差はなくハイレベルな競技を行うことができたと思う。

上位に入る選手は、臨機応変に人のペースに合わせることもできるが、何よりも自分の飛びをマイペースで楽しめるのではないかだろうか? 優勝した板垣選手は、選手の中で一番大会を、そして飛ぶことを楽しんでいた。

### [入賞者]

- |    |    |    |
|----|----|----|
| 1位 | 板垣 | 直樹 |
| 2位 | 山本 | 剛  |
| 3位 | 大門 | 浩二 |
| 4位 | 小高 | 史郎 |
| 5位 | 加藤 | 実  |
| 6位 | 塙野 | 正光 |

### 日本選手権者から

#### □板垣 直樹

競技で飛ぶのに特別な技術は必要ありませんが、フリーフライトに比べると何かとストレスが多いのがコンペです。ただ私の場合、普段はタンデムフライトとテストフライトしかしていないので、少しくらい天候が悪かろうが、込み合ったセットアップだろうが楽しく、皆と過ごせる特別な時間です。

そして今回の競技のように難易度の高いタスクを攻略してゴールすることには大きな達成感と喜びを感じます。多くの選手が参加して全員がゴールに向け



初日トップの富原選手、発進。撮影: 杉山祥一 (右2点も)



トップ3。



選手もスタッフもお疲れさま! 次回は誰が日本一に?

て高く上げ、飛んでいく！選手同士はお互いにライバルでありながら一緒にサーマルを探す仲間で、お互いを高めあう友でもあります。フリーフライトより多くの情報が入ってくるレースでは、その多い情報が時にパイロットの障害になることもあります。より多くの情報を取り入れ、それを正しく判断してゴールに向か

う！集中力と緊張感と高揚感は他では得られないものだと思います。

今回の私は、飛びとは関係の無いところで1ヵ月前に右肩を脱臼し、不安を抱えながらも大会に臨みました。結果はまさに怪我の功名、肩の力が抜けプレッシャー無く自分の力をすべて出せて飛べたと思います。

よく飛ぶ機体、ポテンシャルの高いフライトエリア、そして素晴らしい仲間達に恵まれてクラスV日本選手権四連覇を達成できたことは、これ以上ない喜びと経験です。

今年多くの選手と素晴らしい時間を共有できる大会に参加して、更なる高みを目指したいと思います。

## 2014パラグライディング日本選手権 in 池田山 選手権不成立なれど笑顔で終了。

10月10日～10月13日 岐阜県 池田山フライトエリア 報告：実行委員会事務局 梅村 富雄

池田山では過去にもパラグライダー大会が行われましたが、日本選手権という全国規模の大会は初の開催です。池田山は複数の団体の集まりで、しかもハンググライダーとパラグライダーが共存し、町からも多額の補助金を得て運営される、ちょっと異質のエリアでもあります。施設の規模、アクセスも充分日本選手権が実施できるエリアであり、毎年のようにハンググライダーの大会が開かれてきましたが、パラグライダーは停滞していました。

今大会の開催のきっかけは、トップクラスパイロットの阿知波氏からの誘いの一言。当クラブOBであり、ハンググライダー大会に賞金を出すなど強力な支援者であるアビ株式会社の野々垣会長からも「是非やれ、応援する」との言葉をいただき、開催に動いた次第です。

我々スカイダストクラブのクラブ員には大きな大会に参加した経験者もいませんでしたが、とにかくやろうと決意し、がむしゃらに突き進んだ結果、NHK、岐阜放送、大垣ケーブルテレビの3局の放映決定。岐阜県知事の出席、岐阜県からの補助金などを得、中部国際空港航空管制ノータムをはじめ法的手続き、各種申請や許可願いなど複雑多義な作業に奔走しました。

大会の設営準備に入った所へ台風18号発生。その後すぐに19号が発生し、スーパー台風になると話題になりましたが、たくさんのスタッフの熱意に支えられて、なんとか乗り切ることができました。

が思うような天気になった。華麗なアクロフライト、岐阜県知事を迎えた開会式の後、いよいよ初日競技のスタート。池田山のこの時期の本格的なサーマルタイムの始まりは11:30から12:00頃。しかし東斜面なので10:30ぐらいには前に出せば上がるポイントもあり、それ狙いで出していく人もいる。大会スタッフが見守るなか、選手は健闘したが、メインランディングに次々と降りてしまう。リフライ特選

手が再びテイクオフする頃の情況は少し好転したかのように見えたが、ランディングの上空で空高く舞うのみで、タスクに挑む選手は見られなかった。

### ■10月11日

初日と同じく晴れである。台風がすでに九州の近くに達している。しかし空を見てもその影響は感じられない。今日は行けるかなと期待と疑心を抱きながら競技開始。ダミーフライトは少し渋いようだが、12:00になればきっとよくなると願いながら待っていたが、時間の経過とともにランディングする選手が増えいった。リフライに上がった選手中には徐々に好転する情況に得点を挙げた人たちも。結果的には両日とも13:00以降に飛んだ人たちが有利になったと思われる。

選手の必死の挑戦にも拘らず、思い描くタスクには遠く及ばず、皆歯がゆい思いであつただろうと推察する。戦い終わって、にこやかに談笑する選手たちの姿を見て、我々スタッフは少し気分が和らいだ。

### ■10月12日

台風が四国に接近していたが、日本



青空に望みをかけテイクオフの準備を進める。



競技開始。選手たちは健闘したが……。



トップ3。平木選手が賞金を獲得。



皆さん、お疲れさま。また池田山に飛びに来てください！

### ■10月10日

朝のうち少し雲があったが日中は晴れ、これはビッグなタスクも可能かなと皆

選手権成立への望みをかけて選手はテイクオフへ。しかし南風（フォロー）が強く、池田で南が入ると通常止まることはなく、だんだんと強くなっていく傾向にある。

11:40、キャンセルの発表。翌日は台風が最接近する予報だったので15:00に閉会式を行うことに。選手の一部がフリーフライトしたが、皮肉にも昨日同様に空高くたくさんの機体が舞っていた。

総じて今大会の大気の状況は意外で複雑であった。台風の影響なのか?

そして閉会式。日本選手権は残念ながら不成立となったが、アピ株式会社の野々垣会長より賞金は授与するとの発表があり、選手一同沸き返った。みごと賞金100万円を手にしたのは平木啓子選手。

まるで大会が成立したかのような華やいだ会場の雰囲気に、運営してきた

当クラブ一同もこれで憂いは吹き飛び、喜びにあふれた。

非力でありましたが、池田山スカイダストPGクラブとしては持てる力を発揮したつもりです。ご支援くださった皆様、参加された皆様、ありがとうございました。今年も大会開催が実現できれば、今度は夏ですね。皆さん池田山に来てください。またお会いしましょう。

## 第4回アジアビーチゲームズ 日本チーム、銅メダル獲得。

11月12日～23日 タイ ブーケット 報告：チームリーダー・選手 岡 芳樹

今回で4回目となるアジアビーチゲームズは、アジアオリンピック評議会（OCA）が主催するアジア地区でのビーチスポーツの総合競技大会で、2年に1度開催されている。第1回がインドネシアのバリ島（パラグライダーのメッカであるティンビスがある）で開催されたことから、パラグライダー競技が種目として選択されることになった。第2回のオマーンではパラグライダー競技は行われず、第3回の中国ではPPG（パワードパラグライダー）が行われた。第4回目の今回はタイのビーチリゾートのメッカと言えるブーケットで11月12日～23日の日程で開催された。タイでは、PPGもPGアキュラシーもかなり盛んで、さらにこのスポーツを盛り上げようとRASAT（タイの航空協会）が尽力して、競技種目として選ばれた。

生憎、ティンビスのようにビーチ近くにエリアがないため、内陸部の工業団地のために造成したと思しき400m×400mの平地でトeing方式によって行われた。PPGとアキュラシーが同じ場所を使用するため、2時間ごとのスロットを1日5スロット設け、交代で使用すること

にした。

アキュラシー競技は期間中7日間行われた。毎日フライはできたが、基本的に日中は風が強くウエイティングになり、PPGと交代で行うため思ったようにラウンドを重ねることができず、ほぼ毎日6時前にホテルを出発していたが、最終的に8ラウンドのみが成立した。コンディション的には、ほぼ静穏のアキュラシーに持って来いのコンディションとサーマルブローの厳しいコンディションの両方が必ずあり、選手の技能を試される設定であった。

ベストメンバーではなかった日本チームは、かなり善戦し、相手のミス（特に中国とタイ）にも助けられ何とかメダルを持って帰ることができホッとしている。今回、団体優勝し、個人でも2位と3位に入った韓国は、これまでまったくと言ってよいほど世界レベルの大会に参加して

こなかったために実力がわからなかつたが、今後は侮れない存在となるであろう。

アジアビーチゲームズは、前述したようにアジアオリンピック評議会が主催するため、日本選手団の派遣は日本オリンピック委員会（JOC）が行う。したがって、これまでの世界選手権やアジア選手権での参加とは全く違った様相となる。まず参加選手に選ばれると、派遣前ドーピングコントロールを実施しなければならない。また、日本アンチドーピング機構（JADA）が提供・管理するADAMSと言うウェブ上に居場所情報のデーターをアップロードしなければならない。これは、1日のうちの1時間、ドーピング検査を行える時間を特定し、かつどこで何をするか（たとえば、朝霧エリアで練習するとか、どこかの大会に参加するとか）、宿泊先はどこかなどの情報を入力しなければならない。我々はビーチゲームが開催される月とその前後の3か月間の入力で済んだが、トップアスリートと言われる選手は、1年中入力しなければならない。また、現地での競技前日の練習終了後に、吉田選手が抜き打ちでドーピングコントロールされた。さらに競技中にも数名の選手がドーピングコントロールされ、かなりの確率でコントロールされるものであることに驚かされた。また、現場では毎日JOC本部に翌日の選手全員の行動予定（朝起きてから寝るまで）を連絡しなければならず、競技以外のプライバシーはかなり制限された。幸いなことに我々の宿泊先となったホテルは、所謂観光地ではなく周りに何もなく（その点ちょっと残念ではあった）、JOC本部の置かれた観光地のホテル



内陸の平地でトeing方式による競技を行った。



パレードする日本チーム。



小松選手、パッド中心を踏んで大きなVサイン。



男子個人トップ3。



女子個人トップ3。



男子チームトップ3。日本は3位。



女子チームトップ3。タイが圧勝。

からは遠かったため始終見張られてい  
る感じはなかった。  
JOCから派遣されることによるPGの  
一般社会での認知度のアップは喜ばし  
いが、一人の選手としては、各国選手と  
飲みながら親交を深めるといったことが  
できない寂しさも感じた。

#### 成績

[男子チーム]

1位 韓国 129点	21位 小松 理樹 867点
2位 インドネシア 710点	23位 古田 岳史 1060点
3位 日本 735点	[女子チーム]
[男子個人]	
1位 ウィディアナント インドネシア 20点	1位 タイ 466点
2位 ウォン 韓国 22点	2位 インドネシア 1547点
3位 ハ 韓国 33点	3位 韓国 3700点
6位 川村 真 58点	[女子個人]
10位 岡 芳樹 196点	1位 チャンチカ タイ 83点
	2位 ジュタマス タイ 274点
	3位 ナルポン タイ 364点

## 2014年ナショナルランキング 年間チャンピオン決定!

リーグ戦を勝ち抜き頂点に立ったパイロットたち／2014年競技を振り返って

12月31日で2014年競技シーズンが終了、ハンググライディング、パラグライディングとともにリーグ戦のランキングが確定しました。

頂点に立った選手の皆さん、おめでとうございます。そして大会の企画運営にあたられた皆さん、お疲れさまでした。(ランキング詳細はJHFウェブサイトの各競技委員会のページでご覧になります。)

### ハンググライディング

#### ハンググライディングシリーズ

##### [総合]

1位 大門 浩二 2881

2位 田中 元気 2731

3位 鈴木 博司 2588

##### [女子]

1位 野尻 知里 2270

2位 磯本 容子 2055

3位 桜井 さやか 1368

##### [世界戦選抜総合]

1位 砂間 隆司 283.54

2位 太田 昇吾 262.57

3位 大門 浩二 251.88

##### [世界戦選抜女子]

1位 磯本 容子 198.15

2位 野尻 知里 178.78

3位 谷吉宇瑞子 104.57



総合1位  
大門 浩二

前回と今年の世界選手権はお休みしましたが、まだまだ生涯現役でトップを狙い続けるつもりです。

世界のトップを狙うには日本国内のトップを取るのは「当たり前」ぐらいの意識で、常に全大会で優勝するつもりで臨んでいます。つい無難なレース展開をしてしまうこともあるのですが、世界トップクラスの選手のダントツのレベルを見せつけられると自分の力の足りなさを感じます。

「日本の気象条件は……」と言い訳しがち。でも、同じ条件でトップクラスの選手は結果を残します。海外経験の少ない日本の選手はまだまだ世界レベルには程遠いと言わざるを得ません。もっともっとハングバカが増えてくれると楽しいのですが…。それぞれの生活環境やハング競技環境を変えていければいいのですが、時間とお金の問題が一番大きいのかもしれません。

個人的には、最近はスクールで若手育成をし、僅かずつですが飛び始めた人が増えてきています。この新たなフライヤーが生涯飛び続け、その中の一つとして競技にも興味を持ってくれると共

に技術向上につながるといいなと願っています。



女子1位  
野尻 知里

天候不順に泣かされた2014年。初戦の西富士JCの結果に救われ、HGシリーズ女子1位になりました。そして初のAシード入り。また、日本ハング界で初となる女子世界選手権制覇にも貢献でき、記念すべき年となりました。これと一緒に飛んでくれる仲間のおかげです。今日という日のコンディションの可能性、このサーマルの上昇率、コース取りとグライド、圧倒的な力の差を感じることしばしば。それは同時に、自分がまだ見ていない世界が確かにすると感じさせてくれます。その世界が見たくて、また私は飛ぶのです。

いつも順風満帆なわけではなく、山沈したこと、飛びたいと思えない日々が続くこともありました。気が乗らない時は無理に飛ぶべきではない、飛びたくなるまで休んでいい、飛びくなったら飛べばいい。その言葉を胸に、平凡な日常を過ごしました。しばらく経って、ふと空を見上げて、「ああ、飛びたいな」とするりと思えて、嬉しくて涙が出るくらい安心し

ました。

飛ばなくなった人が、いつか飛びたくなった時に、「おかえり」と迎えてあげられるよう、これからも飛んでいたいと思います。かつて仲間がそうしてくれたように。

## パラグライディング

### ジャパンリーグ

#### [コンペクラス総合]

1位 成山 基義 4905.9

2位 小幡 洋三 4322.1

3位 若山 明晴 4250.3

#### [コンペクラス女子]

1位 伊藤 弥生 3142.6

2位 高田 奈緒 3057.3

3位 平木 啓子 2816.9

#### [スポーツクラス総合]

1位 田中 健 3317.1

2位 高田 奈緒 3057.3

3位 川上 輝峰 2983.7

#### [スポーツクラス女子]

1位 高田 奈緒 3057.3

2位 山下 敦子 2766.7

3位 早坂真有実 2372.8

#### [日本代表選手選抜]

1位 呉本 圭樹 292.4

2位 成山 基義 291.2

3位 植田 真吾 228.8



### コンペクラス

#### 総合 1位 成山 基義

2012年度に続き、2度目のジャパンリーグチャンピオンになることができました。2013年はあと一歩が届かず2位と悔しい思いをしたので、2014シーズンは狙っていました。

シーズン開幕から調子が良くイメージ通りの飛びができることもあり、自身最高の年間3勝をしてチャンピオンになれたことに大変満足しています。特に2014年は、2015年1月にコロンビアで開催される世界選手権出場枠にも大きく影響する年だったので、最高の結果と自信に繋がりました。

世界選手権には大きな忘れ物がありますので、今回はきっちりリベンジしてきたいと思っています。

そしてジャパンリーグで切磋琢磨している選手たちに、我々の技術は世界でも十分通用することをしっかりと伝え、日本の選手たちが夢と目標を持って世界

に挑戦する土台を作って行きたいと思っています。

最後に、各エリアの大会関係者、共に戦ってくれる仲間、自分に関わってくれているすべての方々に感謝申し上げます。



### コンペクラス

#### 女子1位 伊藤 弥生

2014年はいろいろと巡りが悪くて、試合でも思うように飛べないことも多く、ワールドカップでは1タスクもゴールできずに終わり、苦しいシーズンでした。その中でなんとか耐えて、リーグ女子優勝することができたことを非常に嬉しく思います。

私のホームは和歌山の紀ノ川エリアですが、最近そのスクールの生徒さんに言われたことがあります。「あなたを目標としている後輩に対して責任がある。弱音を吐いたり上を向くのをやめることは、目指している人たちの目標をさげることになるんだ」と。今回の世界選手権に私は参加できませんが、それを当たり前ではなく悔しく思うべきであることに気づかせてもらいました。

来年はリーグ内シングルを目指します。そして次の世界選手権に選抜されることを目標に頑張ります!



### スポーツクラス

#### 総合 1位 田中 健

2013年はスポーツクラス3位で嬉しいながらも悔しい思いもしたので2014年は「必ず優勝するぞ!」と頑張りました。リーグ終盤まで抜きつ抜かれつの気の抜けない大会が続きましたが、最終戦で逆転し、目標通り優勝することができとても嬉しいです。

基本的に私はネガティブな性格なのですが、パラグライダーの大会では常にポジティブを意識していました。目標は常に高くもち、自分自身に気合を入れるために他の選手に「負けないぞ!」ということを意識的に口にするようにしていました。技術的にはまだほかの選手に及ばず未熟な部分が多くあります。少なくとも気合では誰にも負けていなかったと自負しています。そのおかげか2014年は「鳴倉」「秋尾神」と2度も

スポーツクラス表彰台の1番上に立つことができ最高の気分でした。総合では13位と過去最高位ながらも、目標はシングルナンバーだったので、来年はもっとがんばっていきたいと思います。

最後になりましたが、大会を開催してくださった各エリアのスタッフや、競技委員会の方々、そして競技者の皆様、ありがとうございました。2015年もよろしくお願いします。



### スポーツクラス

#### 女子1位 高田 奈緒

ここ1、2年ほど怪我やアクシデントが続き、フライトや大会についてとても悩んでいました。その度にたくさんの大会仲間に励ましていただき、勇気付けてもらったり自信が持てるようアドバイスをもらったり気持ちの部分でたくさん救ってもらいました。おかげで少しずつ怖さがなくなり、2014年は以前のように大会が楽しい!もっと大会に出たい!と気持ちが前向きになりました。

スポーツクラス女子1位、総合17位という結果は、2014年の目標を達成できとても光栄で嬉しいですが、何より「パラは楽しい!」と感じながら飛べたこと、初心に戻って上手な方々と一緒にセンタリングすることを楽しみながら飛べた結果であることに喜びを感じています。

たくさん大会に出たいと気持ちが前向きになっているので少しずつ大会の幅を広げ、2015年は海外の大会にもチャンスがあったら挑戦していきたいと思っています。そこでへこんだり悩んだりしながら自分の飛びを少しでも磨いて成長できる1年にしたいです。

最後に、大会運営の皆様、エリアの方々、ありがとうございました。どの大会も楽しく、気持ち良く参加させていただきました。2015年も自分らしく飛びたいと思います。

## アキュラシージャパンリーグ

#### [スクランチクラス総合]

1位 横井 清順 166.4

2位 古賀 光晴 161.2

3位 岡 芳樹 145.1

#### [スクランチクラス女子]

1位 伊藤 まり子 77.5

2位 柳井維都花 47.5

3位 内田 薫 34.0

### [ハンディキャップクラス総合]

1位	横井 清順	166.4
2位	古賀 光晴	147.1
3位	小松 理樹	96.4
[ハンディキャップクラス女子]		
1位	伊藤 まり子	71.7
2位	柳井維都花	58.8
3位	菊田 久美	34.6

### [ルーキークラス]

1位	大和田正昭	11
[国際選抜選手選考]		

1位	横井 清順	252.7
2位	古賀 光晴	240.5
3位	岡 芳樹	215.7



スクラッチクラス  
1位 横井 清順

2013年は日本選手権、2014年はリーグ優勝、握手を求められた時の感動はなかなか味わえない、64年生きてきてこ

の年でも感動しました。

当然この先は世界へ、でも壁は厚いです。1つ1つ自分のテクニックを分析しクリアーすることがまだまだいっぱいあります。

いつも思うのですが、主催者、スタッフあっての大会だと思っております。皆さま、ありがとうございます。



スクラッチクラス  
女子1位 伊藤まり子

アキュラシーリーグに登録して3年目、女王不在というチャンスを活かして、2014年アキュラシーリーグ女子優勝という好成績が残せたことをとても嬉しく思います。

女王以外のアキュラシー女子は、みんなほぼ同レベル。ずっと低い位置でどんどんぐりの背比べをしていましたが、各々しっかり練習を重ね、2014シーズン中に

もどんぐりがどんどん成長しているのを感じました。そんな仲間達のおかげで、大会だけでなく練習も楽しめることにとても感謝しています。

2015シーズンは女王も復帰してくるので、少しでも女王の座を揺るがすことができるよう、どんぐり仲間一丸となってがんばりたいと思います。

また、この8月には世界選手権があります。2014年のアジア選手権で味わった悔しさを糧に、新調した相棒とたくさん練習し、経験値を貯め、メンタルを鍛えて、女子枠でもしっかり日本チームに貢献できるようにがんばりたいと思います。

最後になりましたが、今シーズン、念願のリーグ優勝を果たした今井浜フライングクラブの大先輩、横井さんと、ここに並んで掲載される巡り合わせと、無条件で応援してくれるエリアの仲間達に感謝します。

横井さん、優勝おめでとうございます!

## 2014シーズンの競技を振り返って

### ハンググライディング競技委員会

#### 委員長 板垣 直樹

2014年のハングシリーズは波乱の年だった。

開幕の西富士JCは全日程でビッグタスクが成立し、最高のスタートとなつたが、続く第二戦の紀ノ川スカイグラランプリで1日、日本選手権となった板敷では5日間中2日成立で、池田山カップはまったく飛べず、最終戦のEJCでも3日間飛べたものの実際にゴール者が出てレースができたのは1日だった。

また、選手の競技離れが進み、日本選手権の51人が最も多く、他3戦は50人以下の大会参加者だった。

上位の顔ぶれを見ると、何といっても大門の強さが際立つ! 大門は、最も飛べた西富士の大会は競技委員長として選手で参加していないにも関わらず、日本選手権とEJCでタスクトップをとり、優勝している。変動の激しいヒート性の国内ランキングでの3年連続の1位は、もはや国内に敵はないのか! とさえ思えてしまう。

中堅選手の田中や牟田園はまだまだ安定した強さとは言えないが、スピードレースに強く、これからが楽しみな選手だ。特筆すべきは総合10位に入った野尻。女性としてハングシリーズ史上初の

Aシード入りをはたした。

また、ハングシリーズ参加者は20代の選手が少なく、今後の課題として大きな問題だが、20代でトップテン入りした松田には今年もしっかりと頑張って若手を盛り上げてほしい。

2014年は世界選抜メンバー決定の年だったが、長年、地道に努力を続けてきた砂間が2年間の累計で堂々の1位通過となった。3月のメキシコでの世界選手権では日本チームの活躍を期待したい!

世界的に日本の強さは徐々に上がっているが、選手の減少は今後も大きな課題だ。

皆さん、魅力ある選手達と一緒に飛べる競技にぜひ参加してください。

### パラグライディング競技委員会

#### 委員長 岡 芳樹

2014年度のJリーグは8大会が開催されたが、天候不順のためポイント計上できるタスクは前年度の12本と比べて大幅低下の7本のみであった。中でも大会期間の長い日本選手権で1本も計上できるタスクが成立しなかったのは非常に残念であった。しかしながらこれまで想定ていなかったことだが、エントリー希望者が参加者枠を大きく超え、セレ

クションをしなければならなくなった大会も出現し、嬉しくもあり、これまで気にかけていなかった選考方法も再考する必要に迫られた。

日本選手権は、HGでは毎年大会が開催されてきてそのポテンシャルも認められていた岐阜県の池田山でJリーグとしては初めての開催となった。地元のスタッフおよびスポンサー様の大きいバップアップの下に、素晴らしい日本選手権となったのだが、いかんせん気象条件に恵まれず不成立となってしまったのが非常に残念であった。今回の経験を生かして、今後もリーグ戦を開催できたら喜ばしい。毎年大会を開催しているエリアには大変感謝しているが、新しいエリアでの開催も、リーグの活性化並びに選手の対応力を試すといった面からも今後さらに望まれるところである。

J2リーグでは、2014年も前年同様2大会のみであったが、天候不良のため1本もタスクが成立せず、ランキングがつかない残念な結果となった。

J2リーグはこれからJリーグに参戦しようと考えている大会初心者あるいはのんびり大会をエンジョイしたいと考えているパイロットを念頭に開催されている。大会に不慣れなパイロットにとって一番

大変なのはGPSでルートを設定してナビゲーションをすることだと思う。Jリーグでは、これは基本中の基本で、選手はできて当然との前提で大会運営をするので、そのための時間も最小限としている。そのようなことから大会初心者がぶつつけでJリーグに出てくるのは、選手および主催者両方にデメリットであると思う。大会をオーガナイズするうえで最もネックとなるのがスコアリングだと思うが、スコアリング担当者を競技委員会から派遣することも可能があるので、ぜひエリア管理者の方には、J2リーグ開催を検討していただけたらと思います。

アキュラシーリングは昨年より一つ少ない6大会であった。本来ならばあと2大会が予定されていたのだが、主催者の不測の事態により中止となってしまったのは非常に残念であった。また、2014年度は新人の参加が1人というアキュラシーの底辺を広げるという点では非常にゆゆしき状態となった。すでに参加している選手たちは、かなりやる気で切磋琢磨しているので楽しみなのだが、新しい選手が入ってこないと先細りとなってしまうので心配である。

その一方、新しいエリアGETO(岩手県のスキー場)でリーグ戦が開催され、エリアが増えたことは喜ばしい。GETOは宿泊施設を始めインフラが整っており、エリア管理者も前向きであるので、オーガナイズしやすいエリアで今後が楽しみである。

2014年から新設されたゼロステッカー(公式戦でDCを踏んだ選手に与えるステッカー)を初年度は4名の選手が獲得した。これは、大会で失敗ライトを2本してしまった選手のやる気を持続させるために良い刺激となっている。

## JHFからのお知らせ

### ■フォトコン入賞作がカレンダーに

第3回JHFハンググライダー・パラグライダーフォトコンテストの受賞作品が2015年のカレンダーになりました。ただいま好評発売中。広げるとA3サイズの縦型で、上に写真、下に2ヶ月の日にちが入る吊り下げタイプです。

入手をご希望の方は、JHF登録スクールでお求めいただくか、JHF事務局に下記の方法でお申込みください。

#### 価格・申込方法:

送料込み1冊500円。入金を確認後に発送します。

以下の項目をすべて入力/記入して、JHF事務局にEメールかFAXでご連絡のうえ、代金を銀行振込または郵便振替でご送金ください。

氏名/フライヤー登録番号/Eメールアドレス/電話番号(携帯可)/郵便番号/住所/注文数/口座振込予定期

#### 【銀行振込】

三井住友銀行 小石川支店

口座番号(普)3488605

口座名:公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

【郵便振替】口座番号00180-8-650201 口座名:JHF

### ■PG教本基礎技術DVD発売中

基礎技術DVD「JHFパラグライディング教本基礎技術」、続いて第2弾「テイクオフとランディング」を発売中。

「JHFパラグライディング教本基礎技術」には、JHF教本のA・B級からクロスカントリーまで各課程を修了するために求められる基本的なライト技術について、ベテラン教員による模範演技を収録しています。実際の飛行での操作を、複数の方向から近接撮影したものが2画面で表示され、各操作での動きをはっきりと見ることができ、判りやすく表現されています。リアライザーコントロールでの引きしろとブレークコードでの場合との違いや、A・Bストールを行ったときの翼の変形の様子などもわかります。

第2弾は、ライトの基本中の基本であるテイクオフとランディングを収録しており、フロントライズアップの基本から場周アプローチによるランディングまで、各操作のポイントをつかみやすい内容です。

#### 価格・申込方法:

それぞれ1枚1,500円(送料込)で、お申し込み10枚毎に2枚追加してお送りします。入手をご希望の方は、最寄りのスクールでご購入いただくか、JHFウェブサイトにて注文書をダウンロードのうえお手続きください。

線機登録局(上空利用)」は、スタンダード(STANDARD)のVX-291SとVXD450Sの2機種です。これらは簡単な登録手続きだけで利用できます。

既に購入、使用されている皆様も、必ず登録手続きを行い、利用料を払って運用してください。

登録申請をしないまま無線機を運用すると、不法無線局として処罰対象になります。うっかり登録忘れのないよう、ご確認をお願いします。

\*各地区通信局では警察と共同で「不法無線局」の取り締まりを行っています。不法無線局を開設したり運用したりすると、1年以下の懲役または100万円以下の罰金に処せられます。

### ■各種お申込みやお問合せは

#### JHF事務局へご連絡ください。

公益社団法人日本ハング・パラグライディング連盟

〒114-0015

東京都北区中里1-1-1-301

TEL.03-5834-2889

FAX.03-5834-2089

E-mail:info@jhf.hangpara.or.jp

<http://jhf.hangpara.or.jp/>

\*賛助会員からのお知らせを同封しています。また、神奈川県、福岡県在住の方には各県連盟からのお知らせも同封していますので、ご覧ください。

### JHFレポート208号

発行日:2015年(平成27年)1月20日

発行:公益社団法人 日本ハング・パラグライディング連盟(JHF)

編集:JHF事務局

印刷:株式会社美巧社

